

トップニュース：北陸の仲間が一堂に！ 交流会開催

去る4月18日、富山県高岡市の高岡ステーションビル3階ホールにおいて、北陸の交通とまちづくりの活動を行っている市民団体が一堂に会する初の交流会が開催されました。これは以前より「明日の金沢の交通を考える市民会議」の皆さんから呼びかけがあり、今回、「路面電車と都市の未来を考える会・高岡(RACDA高岡)」の総会、兼、記念誌(万葉線とRACDA高岡5年間の軌跡)発刊パーティーに併せて開催されたものです。

当日は前述の2団体と「ROBAの会」の他、「岐阜未来研究団」、「とやま公共交通しみん応援団」、「金沢・LRTと暮らしを考える会」、「のとエア・レール21」、「太田川流域鉄道再生協会(太田川鉄道株式会社)」、「富山県交通政策研究グループ」が参加。ゲストとして、岡山の「路面電車と都市の未来を考える会(RACDA)」の岡将男会長も姿を見せ、記念誌の発刊を祝うとともに、初めて北陸3県の交通・まちづくりNPOが一堂に会し、今後の交流を確認しあう場となりました。交流会に先立って行われた京都大学大学院助教授の中川大先生の講演では、万葉線が存続を決めるに至った「決め手」となった事柄、今後の提案で注意すべき点等について触れられ、現に鉄道の存廃問題に直面している団体等、参加者が皆真剣に聞き入り、メモをとっていました。北陸地方では今後3県にまたがる新幹線の並行在来線問題が出てくるだけに、案外、今回の交流会が後に重要な意味を持つことになるかも知れません。とにかく有意義な交流会となりました。



活動報告

- 3月28日 NPO ボランティアフォーラム参加
- 3月30日 都市再生モデル部会
- 4月6日 都市再生モデル部会
- 4月8日 第19回まちづくり懇談会
- 4月13日 4月作業部会・都市再生モデル部会
- 4月18日 北陸3県交通まちづくりNPO
交流会 in 高岡
- 4月21日 幹事会
- 4月23日 4月例会・都市再生モデル部会
- 4月27日 都市再生モデル部会

今後の予定

- 5月10日(月) 都市再生モデル調査報告書納品
- 5月13日(木) 第20回まちづくり懇談会
- 5月14日(金) 福井県立大学ROBAの会講義
- 5月16日(日) ROBAの会3周年記念講演
講師：本田豊氏
ROBAの会第4回定例総会
- 5月18日(火) 5月作業部会
- 5月28日(金) 5月例会

第 19 回まちづくり懇談会の報告

日時 : 4月8日(木) 19:00~21:30

場所 : 駅前商店街会議室(五十嵐ビル6F)

参加者 : ROBA/玉井,門田,坂川,内田

まちなか NPO/永井,大森,村北,古市,伊井

議題 :

中心市街地活性化シンポジウム(2/20開催)のビデオ上映

このビデオは、中心市街地の活性化のための勉強会として、まちなか NPO や福井商工会議所、商店街が中心となって企画したものです。ROBA の会会員の方で、聞けなかった人もいたので上映会を行いました。

内容は、青森と佐世保の成功例の発表を 2 地域の商店街の代表が行い、続けてパネルディスカッションを行なったものです。

続けてシンポに関する討論

佐世保は重工業の低迷、ハウステンポスの民事再生手続きなど産業が低迷、人口が減少している中、中心市街地が頑張っているようだ。青森は駅前の「アウガ」という再開発事業が失敗に終るものの、その経験を活かして賑わいを取り戻しているという。

まちなか NPO によれば、それは地域特性があるので福井には応用はできない旨の発言があるが、事例の報告を参考にして少しでも取り入れていくという姿勢がなければ、この種のシンポは意味がない。

また、「シンポをとおして今後福井の中心市街地をどう活性化するのか」という問にたいしても明確な返答はなく、シンポのサブタイトル - その気概と手法を学ぶ - はなんなんだ！と思える状況であった。

路面電車駅前延伸と今後

駅前への延伸について意見を問うたところ、

- ・乗客が見込めないのに必要ない
- ・誰が乗るといのか、乗っていない
- ・南通りを線路でふさぎ、(車の) 通行の障害となる
- ・そもそも駅前通りに電車は不要
- ・延伸の目的は何か

など、ROBA の会との見解の違いが改めて浮き彫りになった。

次回開催案内

- ・日時 : 5月13日(木) 19:00~21:00
- ・場所 : 駅前商店街会議室(五十嵐ビル)
- ・議題 : ROBA の会から

「都市再生モデル調査」の完成レポートの発表及び意見交換

最近、ROBA の会の出席者が少なくなってきました。まちなか NPO とも本腰を入れて議論する場面が出てきます。公共交通の理解を広げるためにも、多くの会員の参加が必要です。そしてできるだけ発言して下さい。お願いします。

(文・内田)

北陸交通まちづくりNPO交流会に参加

4月18日(日)夏を思わせる陽気のなか、RACDA高岡の総会・記念講演に参加してきました。ROBAの会から、高橋、清水、玉井、門田、今度、内田の6名の参加です。清水さんはRACDA高岡会員でもあり、総会の進行など大忙しでした。

総会には参加しなかったのですが、京都大学助教授中川大先生の記念講演は、RACDA高岡の万葉線存続の経過を説明する中で単なる費用の収支でなく、環境や渋滞緩和などの社会的便益を含めたコスト計算をしなければならない。そうすることでバス転換した時の便益は電車存続をした時と比べてはるかに小さいものとなると、具体的な数字での説明がありました。

その後、記念誌発刊パーティではRACDA高岡会員の紹介とともに記念誌発刊にいたる苦労話などが披露されました。なお、会場には地方(東京、新潟、静岡、岐阜、富山、石川、福井、京都、岡山等)から多くの市民団体が参加があり、情報交換や親睦をはかりました。

また、我々は1月から運行しているLRV(赤MOMO)に乗車してきました。岡山のMOMOと同型のLRVでまさしくRACDA号と言えます。スムーズな加減速、乗降が便利な足元、鮮やかな赤色のボディで都市の空間を見事に演出していました。高岡駅前の再開発ビルをバックに駅前ホームに入る姿も絵になっていました。8月にはもう1編成運行予定とのことです。

LRVに始めて乗車した門田さんは、「カッコいい、きれい、楽しい」の連発。福井の人もLRVに乗ればきっと良さも分ってもらえる、との感想でした。(文・内田)



丹南市民自治研究センターとの交流会

日 時：3月27日(土) PM7:00～9:00

場 所：NPO武生事務室<JR武生駅前センチュリープラザ
(ホテル横)内>

丹南市民自治研究センターから5名、ROBAから内田・水野・高橋・清水・岸本・林照が参加しました。最初に武生地区における公共交通の利用実態など報告されました。

- ・「民間でカバーできない部分を市民バスという形で補っているが、お年寄りを中心に利用者はかぎられている」
- ・「白山地区では学校の統合によりバス路線がなくなるところも出てきている」
- ・「ライフスタイルが車中心の生活になってきており、いざバスを利用しようと思っても、便が少なく使いにくい」

ROBAからは「都市再生モデル調査」の説明と公共交通を生かしたまちづくりについて意見交換を行い、武生市役所の移転問題についてもふれ

- ・「必ずしも市役所が街中の活性化にはつながっておらず、市民窓口などは中心に残し、他の部門は郊外に移り居住人口を増やす選択もあるのでは」
- ・「市役所が変わる交流人口の多様性の機能を持った施設はなかなか難しいのではないか」などの意見が出された。



作...漆崎耕次

終了後、福鉄・武生新駅に向かう途中、武生駅前の前を通ったのですが、噴水のイルミネーションがとてもきれいで「福井駅前より風情があるなー」と思いながら帰路につきました。(林 照)

編集後記……編集委員より一言

林(編集長)

「すれ違う バスの乗客数が気になる 春休み明け」

清水(副編集長)

「私たちのおこす小さな風が、大きな風になるように」

川口(副編集長)

「内定ほしいなー」

内田(発行責任者)

「ピンク(桜)の次は黄色(菜の花)次は・・・ROBA色」

事務局

ふくい路面電車とまちづくりの会

910-8031 福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail : roba@mbh.nifty.com

URL : homepage2.nifty.com/tram-fukui